

つくる会 FAX 通信

第 258 号 平成 21 年(2009 年) 7 月 9 日(木) 送信枚数 2 枚

TEL 03-6912-0047 FAX 03-6912-0048 <http://www.tsukurukai.com>

栄光ゼミナールが小学生に自虐教育 南京大虐殺・強制連行・沖縄集団自決 産経新聞(7月8日付)が大きく報道 栄光ゼミナールに抗議のFAXを

この程、有名進学塾の「栄光ゼミナール」の、小学5年生を対象とした歴史の教育で、極端な自虐教育が行われていることが、保護者からの訴えで明らかになりました。

問題を重視した当会は、6月11日付で、株式会社栄光の社長に対して、「歴史教育の内容が貴社のものであるかどうか。貴社のものであるとした場合、直ちに改善するかどうか」の2点について質問状を送付しました。

これに対し、株式会社栄光は、6月18日付文書で「ご指摘のプリントは弊社教師が当該コースで使用している教材に基づいて作成したもの。弊社の教材は、生徒様が志望校に合格することを目的として、文部科学省が認定した学校教科書の学習内容を元に、入学試験で出題された問題を参考に作成している。従ってこれらの変更がないかぎり直ちに修正することはいたしません」と回答してきました。

この栄光ゼミナールの歴史教育は、入試に名を借りた自虐史観の刷り込み以外の何ものでもありません。この様な極端な自虐史観に基づく歴史教育が有名進学塾で、しかも小学生を対象に行われていることについて、歴史教育を正す当会として断じて容認することはできません。したがって、当会としては、栄光ゼミナールが誤った教育を改めるまで徹底して改善を求めていくこととします。

各支部及び会員各位は、株式会社栄光(栄光ゼミナール)に抗議し、直ちに自虐史観に基づく歴史教育を中止するよう要請するFAXを送信してください。

株式会社栄光は、埼玉県に本社を置く有名進学塾「栄光ゼミナール」を運営する会社です。資本金16億円、社員数1300名余(出向社員、臨時を含まず)首都圏を中心に教室318拠点を持つ巨大な進学塾です。

この件について産経新聞は、7月8日付紙面で大きく報道しました。

株式会社栄光

本社 〒336-0018 埼玉県さいたま市南区南本町 1-2-13

電話 048-838-0321 FAX 048-838-0330

代表取締役社長 近藤好紀

栄光ゼミナールが小学5年生を対象に行っている自虐教育の例（抜粋）

（ ）内に児童に記入させる設問。

1937年7月、北京郊外での日本・中国両国の軍隊が武力衝突した（盧溝橋）事件がきっかけとなって、（日中）戦争が始まった。12月、中国の首都だった南京を占領した日本軍は、十数万人ともいわれる中国人を殺し、世界中から非難をあびた。これを（南京大虐殺）という。

日本の植民地となっていた朝鮮や台湾では、人々を日本の戦争に協力させるための（皇民化）政策が行われ、姓名を日本式にする創氏改名や、神社への参拝を強制した。また、日本国内での労働力の不足にともない、多くの朝鮮人や中国人を強制的に日本に連れてきて、鉱山などで働かせた。これを（強制連行）という。朝鮮人約70万人、中国人約4万人という。

1945年4月には、アメリカ軍が（沖縄）に上陸した。国内で唯一の（地上戦）が行われ、当時の人口の約4分の1にあたる（12万）人もの県民が犠牲になった。犠牲者のなかには日本軍に殺されたり、（集団自決）を強制されたりした人もいた。

〔お願い〕

他の進学塾の歴史教育の内容等を極力入手し、本部事務局宛に連絡してください。内容を検討して対処することとします。

（訂正とお詫び）

FAX通信第257号（7月3日付）のなかで、韓国民団中央本部へ申し入れた文書で7行目に「民俗の独立」とあるのは「民族の独立」の誤りでした。訂正の上お詫びします。